

(規則) 様式第7 (第7条関係)

政 務 活 動 費 成 果 報 告 書

犬 山 市 議 会

議 長

様

令7年2月10日

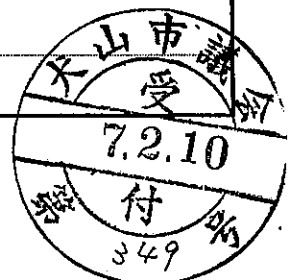
栗田正伸

議員名

柴山一佳

下記のとおり、祖家の成果を報告いたします。

(1) 年 月 日	令7年2月3日(月) ~ 令7年2月4日(火) (1泊2日)
(2) 場 所	福知山市
(3) 形 態	会派() : その他(柴山一佳)
(4) 内 容	別紙の通り
(5) 成 果 ・ 提 言	別紙の通り



令和7年2月10日

犬山市議会議長
柴田ひろゆき様

視察報告書

日時：令和7年2月3日～4日

初日： 福知山市

視察項目：要支援者の避難支援活動について

二日目：福知山市

視察項目：福祉有償運送他



一日目

福知山駅に到着したのは、11時45分だったので、すぐにつむぎチャレンジという就労継続支援B型事業所のあるカフェで昼食。ここの責任者は受け入れ代表の荒川市議さんの奥さん。大変おいしいちらし寿司と肉と野菜炒めだった。コーヒーもついて950円。

その後、駅前の市民交流プラザという真新しい施設に向かう。



災害時、支援の必要な方々、車の無い高齢者、障がい者を避難所まで移送することが、ネック。西田好孝さんを代表とする「シェア福知山会議」は市から委託を受けコーディネーターの廣瀬さんとで、配車する事になる。実際に動かす車や運転手は、平時でもそのサービスを行う特定非営利活動法人（NPO）福知山BGMサービスが行う。福知山BGMサービスは、登録し

た利用会員と運転会員が本部の指示に従って行われる。利用者は（タクシーより安い）月に一度清算された利用料金額を支払い、運転者はその料金に市からの補助を加算した金額を受け取る。通常他地域のボランティア送迎はほぼ燃料代だけだが、BGMはそれなりに満足度の高い運転料を受け取る。

BGM事務所の入る建物では、障害児の放課後児童デイや、お泊りサービスも行う。

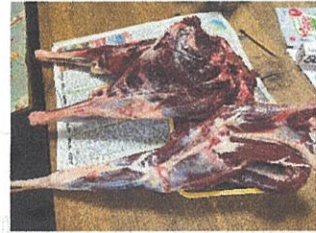
このデイの子供たちで野外活動できる場を提供している。例えば有機野菜栽培等。

自伐型農林業もBGMの関係者が間接的に支援しているようだ。この林業は大変興味深く、年間一人に対して市から200万円上



限で補助があり、放置された民間の山林の整備を行う。山整備の基本は作業道の整備で、現在それに携わる中村豪文さんは、奥さんが福知山出身ということで、コンサルの会社を運営しながら林業に携わり、ユンボを使って作業道整備に約半年従事している。

切り出される丸太は基本的には作業道の整備に活用され、木材を市場で売りさばくことは現在はない。なぜなら、木材価格が低すぎる。そのため、他の形の流通で財源を生み出さねばならないそうだ。例えば、ジビエ。罫の資格も取得し、鹿を捕獲し将来的には、それを売り出したいということだ。現在は鶏のエサとして地元の農民から頂くお返しに鹿肉を渡す、物々交換が行われているということだ。まだ食べたことはないが、血抜きを適切にした鹿肉は大変美味だそうだ。現在、受け持っているのはやく 100 ヘクタール。



二日目



まずはじめに、福祉有償運送の実際を見るために、利用者のお宅に伺う。待つこと 10 分程で、運送車が到着し、利用者の若い女性が自宅から歩いて車に乗り込み、その後を我々の車で追いかけた。行先は、竹毛の希望の家という福祉法人。おそらく作業所と思われる。15 分程度のドライブだったと思う。運転者は記録用紙にサービスの内容を書き

込みその場を離れた。

その後は市民交流プラザに移動し、座学。

昨日と本日早朝で様々な事業を視察させていただいたので、それを整理。そして、福マールという新しい市民活動団体の紹介を受けた。福マールは、片岡ファミリーが中心の支えあい運動推進の団体。事務局長はお母さん。その原点は、府営団地に住んでいるが、老朽化が進み、ガス水道電気でたびたび故障が発生するが、その対応があまりにも悪い。電話で解決しようにも、結局たらいまわしになる。この行政の不誠実な対応に憤りを感じ、何とかしたいという思いが強くなった時に、自分が 10 年程前、下の小さな三人の子供（上には自立した二人の子供たちがいる。）を連れて、石垣島に移住した時の経験がよみがえってきた。それは、支えあいだ。石垣の人々はみな支えあって生きている。今の内地は、人は人自分は自分になってしまっている。石垣には、結マールという考え方がある。これは、お互い様で支えあうのが当たり前という考え方。この結を福知山の福にかえて福マールとした。活動としては、石川の復興支援をやった。困った人がいれば助けると



いう活動を積み重ねていきたいということだった。次男さんが学生部の代表をしているが、大変意識が高く、頼もしい。これから地道に仲間を増やしより暖かい社会を作っていってくれると想像できる。

最後は寒風吹きすさぶ中、明智光秀築城の福知山城に登りました。あいにく火曜日が休刊日でしたが、お城の入り口までは行けたし、眼下に由良川も眺められ良かった。
館

犬山市への提言

- ① 平時から福祉有償輸送をしていると、緊急時にも車の無い高齢者や障害者の移送にも対応しやすいはずだ。その移送ネットワークをできるだけ多くの市民に関わってもらえば、救える命も拡大するに違いない。
- ② うん・ばっばにしてもこれは障害児と移送を密接に結びつけ、いざという時に機能するシステムだ。
- ③ 自伐型林業は、福祉からは離れているかもしれないが、それ単体として大変面白い取り組み。犬山も東海自然歩道の整備が時々議会に上がってくる。これを監視するのは市だが、整備は県。もし適切な人材があれば、その方に守の役を担っていただくのも良案。業者任せでは、だめだったと林業に携わる古老の言葉。

the first of these is the fact that the *Journal* is a very young journal, and it is not yet possible to say whether it will be a success or a failure. The second is the fact that the *Journal* is a very young journal, and it is not yet possible to say whether it will be a success or a failure.

The third is the fact that the *Journal* is a very young journal, and it is not yet possible to say whether it will be a success or a failure. The fourth is the fact that the *Journal* is a very young journal, and it is not yet possible to say whether it will be a success or a failure.

The fifth is the fact that the *Journal* is a very young journal, and it is not yet possible to say whether it will be a success or a failure. The sixth is the fact that the *Journal* is a very young journal, and it is not yet possible to say whether it will be a success or a failure. The seventh is the fact that the *Journal* is a very young journal, and it is not yet possible to say whether it will be a success or a failure.

The eighth is the fact that the *Journal* is a very young journal, and it is not yet possible to say whether it will be a success or a failure. The ninth is the fact that the *Journal* is a very young journal, and it is not yet possible to say whether it will be a success or a failure. The tenth is the fact that the *Journal* is a very young journal, and it is not yet possible to say whether it will be a success or a failure.

The eleventh is the fact that the *Journal* is a very young journal, and it is not yet possible to say whether it will be a success or a failure. The twelfth is the fact that the *Journal* is a very young journal, and it is not yet possible to say whether it will be a success or a failure. The thirteenth is the fact that the *Journal* is a very young journal, and it is not yet possible to say whether it will be a success or a failure. The fourteenth is the fact that the *Journal* is a very young journal, and it is not yet possible to say whether it will be a success or a failure.